

平成 26 年度 第 2 回木更津市生涯学習推進協議会 議事録

- 1 日時 平成 27 年 3 月 26 日 (木) 午後 3 時 00 分 ~ 4 時 30 分
- 2 会場 木更津市役所 6 階委員会室
- 3 出席者 委員：前野一夫委員、佐久間剛委員、松尾玲子委員、坂井英一委員、
伊藤真由美委員、尾崎進委員、藤野笙子委員、宮崎清委員
桂啓之委員 (9 名)
事務局：初谷教育長、齊藤次長、石井生涯学習課長、
佐々木主幹、露崎主査、堀田主事 (6 名)

4 次第

1. 開会

2. あいさつ

会長あいさつ

教育長あいさつ

3. 報告事項・協議事項

平成 26 年度木更津市生涯学習事業について

- ・生涯学習市民公開講座
- ・生涯学習バス「まなび」の運行状況
- ・生涯学習フェスティバル

生涯学習推進の今後の方向性について

4. その他

5. 閉会

5 資料

木更津市生涯学習基本構想

木更津市生涯学習推進協議会設置要綱

木更津市生涯学習推進本部設置要綱

君津市生涯学習推進プラン

富津市生涯学習推進計画

木更津市の基本構想 計画等の計画期間のイメージ

木更津市第 1 次基本計画 (抜粋)

近隣 4 市の生涯学習基本計画の概要

木更津市の生涯学習事業の実施状況について (教育委員会除く)

生涯学習基本計画 (平成 7 年 3 月発行版)

平成 26 年度 (第 20 回) 生涯学習市民公開講座実施要項

生涯学習公開講座アンケート結果

生涯学習バス運行状況 (平成 26 年度)

平成 26 年度 (第 23 回) 木更津市生涯学習フェスティバル開催要項

木更津市生涯学習フェスティバル 2014 事業報告

6 会議の概要

(進行)

ただ今より、平成 26 年度木更津市生涯学習推進協議会第 2 回会議を開催いたします。

委員 14 名中 9 名の出席です。会議の成立要件については、生涯学習推進協議会設置要綱に特に規定はありませんが、委員の 2 分の 1 以上の出席となっております。なお、本会議は木更津市審議会等の会議の公開に関する条例施行により公開されておりますが、本日の傍聴人はございません。以上、ご報告させていただきます。

それでは、前野会長よりご挨拶をいただきたいと思います。

(前野会長)

本日はお忙しい中、木更津市生涯学習推進協議会第 2 回会議にご出席いただきありがとうございます。私は、まだ不慣れでございまして、この会議をうまく進行できるか心許ないところがございますが、精一杯務めさせていただきますので何分よろしくお願い申し上げます。会議の進行にご協力いただければ幸いです。

(進行)

ありがとうございます。続きまして、木更津市生涯学習推進副本部長の初谷教育長よりごあいさつ申し上げます。

(初谷教育長)

たいへん春が盛んになって参りました。先程、太田山の金のすず館長から、太田山の桜の標準木の花が 5 つ咲いたという報告がありました。4 月 4 日、5 日にはちょうど花盛りになるのではと思います。そのような陽気ではありますが、年度末のお忙しい中、会長さんをはじめ皆様 2 回目の生涯学習推進協議会にお集まりいただきありがとうございます。

今日は、平成 26 年度木更津市生涯学習事業について報告し、この 1 年を振り返ってご指導ご意見を賜りたいと思います。そしてもう一つは、生涯学習の今後の方向性についてということで、これからの木更津市の生涯学習をどの方向に導いていくかということについても、新たに計画を起こしていこうと考えておりますので、よろしく願いいたします。

(進行)

ありがとうございました。それでは会議に入って参りたいと存じます。

今後の議事進行については、生涯学習推進協議会設置要綱第 6 条により、会長をお願いいたします。

前野会長よろしく願いいたします。

(前野会長)

それでは、これより進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

本日の議題は、「平成 26 年度の木更津市生涯学習事業の報告」と「生涯学習推進の今後の方向性について」の協議であります。

それでは、まず、平成 26 年度の生涯学習事業ということで、生涯学習市民公開講座、生

涯学習バス、生涯学習フェスティバルの各事業について、事務局よりご説明をお願いいたします。

- 事務局説明 -

（前野会長）

ありがとうございました。ただ今ご説明があった事業につきまして、皆様からのご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

（伊藤委員）

生涯学習バスまなびの運行状況の10月ですが、稼働率が88.5%ですが乗車人数が1,157人と稼働率100%の月と比較しても倍以上です。乗車定員40人に使用日数23日を掛けてもこの数字にならないすごい数字なんです。午前午後と別団体が使用したのですか。

（事務局）

10月は、アクアラインマラソンがあり、その前日にピストン輸送を行なったことから乗車人数が多くなっております。

（坂井委員）

生涯学習フェスティバルで、少年少女の主張大会がありますが、普段あまり自信のない子だったのですが、思い切って小学校の代表として出場し、自分の思っていた主張を述べたんです。それが、非常に自信になったようで、その後、非常に明るくなり、胸を張って卒業証書を受け取って羽ばたいていきました。非常に良い機会だったように思います。

それで、この模様が数日後かずさFMで放送されてたんですね。良い連携だなと思ったのですが、かずさFMで放送されるということは、たまたま私は、かずさFMをよく聴く方だったので気が付いたのですが、あまり他の人たちは知らなかったですね。放送されるということをもっと広報していただければ、さらに良かったかなと思います。

（事務局）

少年少女の主張大会につきましては、毎年、発表された方から、すごく良い経験になりましたと、保護者や先生方からもいただいております。

かずさFMにつきましては、いままで放送されていなかったのですが、今回、主張大会の少し前にかずさFMから、ぜひ発表を録音させてほしいとの話がありました。急遽、学校側に録音の確認は、させていただいたのですが、放送日の広報までは手が回りませんでした。かずさFMからは、来年度以降も続けていきたいというお話をいただいておりますので、次回からは、もっと広報をしていきたいと考えております。

なお、かずさFMが発表を録音してくれたCDを学校を通じて本人にお渡ししました。

（桂委員）

生涯学習公開講座ですが、過去に採ったアンケートの中から意見をピックアップしたりとか、かなり考えているのかなという気がします。今後もそういった意見を大事にして、この

公開講座を進めていただければありがたいなと思います。

（事務局）

4月頃に、清和大学と今年度の公開講座をどのような形で進めていくか打ち合せをしています。こちらからは、講座の内容について、例えば、受講者の平均年齢が結果的に高いのは仕方ないのですが、若い方も参加できるようなテーマや、もう少しタイムリーなテーマの講義を、といったような要望を投げかけました。

特に今年度につきましては、「ウクライナ」、「憲法改正」、「オリンピック」、「ゴーストライター」の話など、かなりタイムリーな講座を入れていただいたことにより、あまり見られなかった20代、30代の方の受講もあり幅が広がりましたし、出席率も大変良かったのではないかと思います。

また、今回いただいた意見も清和大学にお話しして、多くの方が参加できるような公開講座にしていきたいと考えております。

（尾崎委員）

生涯学習市民公開講座について、募集としては150名ですよね。平成16年度以降は、150名に満たないですが、往復はがきで行なっている応募方法を改善すればもっと若い人も応募できるかなと思いますけどどうでしょうか。

応募方法について、今どのように行なっているか、お聞かせください。

（事務局）

公開講座は、委託事業であり応募の受付業務、講師の選定を清和大学にお願いしております。応募方法については、例えば、インターネットなど様々な方法が考えられますが、公開講座は、各回の講座毎の募集ではなく、全7回の連続講座としておりますので、往復はがきで申し込んでいただき、返信はがきが受講証になり受講証記載の番号により各講座の出席者の受付をしております。募集方法については、今後も工夫していきたいと思っております。

（尾崎委員）

ネットで申込みというのは、今はないですか。

（事務局）

はい。電話やメールで申込みがあった場合でも、申込み方法を説明したり、直接清和大学の会場に来ていただく場合は、往復ではないですが、はがきをもって来ていただいております。

（前野会長）

他に、生涯学習フェスティバルについては、ございませんか。

（伊藤委員）

木更津市PTA連絡協議会では、毎年“ぶにゅぶにゅフィッシング”という風船釣りをや

っておりますが、たくさんの参加者が来てくれます。委員の皆様も風船作りが年々上手くなってきて、風船で犬やアンパンマンを作ったり、初めての人はできる人に教わったり楽しみながら参加させていただいておりますので来年以降も引き継いで行くと思います。

（前野会長）

他に質疑がございませんでしょうか。それでは、皆さんからいただいたご意見を平成 27 年度 4 月からの事業に反映していただければと思いますのでよろしくお願いします。

それでは、次の項目ですが「生涯学習推進の今後の方向性について」事務局からご説明をお願いします。

- 事務局説明 -

（前野会長）

ただ今、「生涯学習推進の今後の方向性について」ということで、木更津市第 1 次基本計画におけます「社会教育施策」等について、具体的に、詳細にお話しいただきました。

前回の推進協議会において、生涯学習の捉え方や生涯学習推進の今後の方向性についての大まかなイメージの話がありましたが、今回は、木更津市第 1 次基本計画において、平成 27 年度から 30 年度の 4 年間に、第 2 次生涯学習基本構想・基本計画を策定することになったとのことです。

また本日は、前回の報告をふまえて、今後の方向性を検討する基礎知識として、

- ・近隣 4 市の生涯学習計画の概要
- ・予備調査としての「平成 26 年度の市長部局における生涯学習事業の概要」

についてご説明がありました。

質問等ありましたら、自由にご発言をいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

（桂委員）

意見ですが、生涯学習計画の概要に近隣 4 市を比較できるような表がありますが、4 市の連携は現在どのような形で行われていますか。例えば、4 市合同の事業が計画されることはありますか。君津市のイベント等も出たことがあり、市によって色々なカラーが出ているように思いますが、合同で何かをやるというのは今まで経験がありません。

（事務局）

社会教育委員に関しては、君津地方社会教育委員連絡協議会で、君津地方社会教育推進大会を 7 月に行うなど日常的な交流、研修会を行っております。

公民館運営審議会については、君津地区公民館運営審議会委員連絡協議会や県の組織がありますが、生涯学習事業については、この生涯学習推進協議会の連絡協議会も現在のところありませんので、社会教育や公民館の事業を通じた形になるかと思えます。

（桂委員）

連絡協議会は、PTA も含めて 4 市を跨いで様々な活動をしていると思いますが、生涯学習

についても4市それぞれが、特徴的なことをしており、もう少し連携すればもっと良いものができるのかなという気がしますので、そういったところも検討のひとつに入れていただければいいかなと思います。

もうひとついいですか。富津市の人材バンク、まちの先生というのが主な事業の中に書かれています。木更津市の場合、学校教育課で学校支援ボランティアをしていますが、何か特殊な技能を持っている人を生涯学習に活用できればおもしろいのかなと思いますし、また富津市の内容がわからないので、紹介していただければと思います。

（事務局）

資料によると、いわゆる登録制度で、市民の講師になり得る人を登録し、先生として講座に派遣する事業のようです。

木更津市も生涯学習ボランティアの登録制度を行い、過去には、サークル情報と同様に学習指導者の名簿を作成し、冊子を作っていました。プライバシーの問題で現在は行っておりません。このような制度を活用してほしいという思いはありますので、今後研究していかなければと考えます。

（前野会長）

安全な時代ですと、連絡先などの情報を開示しても大丈夫だったんでしょ。同様のことをやろうとしても、情報を選ばなければいけない時代に入ってきているのじゃないかな。

それと、ひとつふたつお話ししたいのですが、ひとつは生涯学習推進の方向性についてです。今、我が国で動いている地方創世に連動するような、国の動きを少し踏まえた文言、あるいは考え方を方向性のまとめに少し入れられないかなと思います。

次に、木更津市の生涯学習事業についてですが、例えば、施設に入ってあまり移動できないお年寄りの方に俳句を実際につくってもらい、それを俳句の心得のある方が添削するというのをちょっとやったことがあるんですが、非常に効果がありました。何かを作って答えが返ってくる、「こうしたら良いんじゃないですか」というやりとりがあることが、すごく生き甲斐になっていたという話がありました。動き回ることが、なかなか難しい時代に段々増えてきますので、そういう高齢化社会において可能な生涯学習とは何か、ということを考える必要があるのかなと思います。

（佐久間副会長）

子育て支援課で実施している離乳食や保育の講座ですが、単発で終らず継続的にやれないかなと思います。今、虐待などの問題も騒がれており、私たちそれぞれが、心を傷める問題でもあります。継続的にやっていただくことで、少しは改善されるかなという感じがします。

（石井生涯学習課長）

私の印象としまして、教育委員会以外の生涯学習事業について、継続的な講座の事業は少ないなあと感じました。

教育委員会の公民館などがやる講座は、人と人の繋がりの中で互いに学び合う。子育てであれば、そこに参加して知識を得ることと合わせて、参加したお母さん同士が繋がりながら、

互いに教え合ったり、学び合ったりするようなことができるような講座が多いかなと思います。最終的には、生涯を通して学び続けながら、互いに学び合う、教え合うような街づくりを、みなさんと考えるような講座も必要かなと考えました。

（松尾委員）

木更津市の各課の生涯学習事業を見て、私が参加したいな、と思う講座は限れていますが、子育て中の方たちには、とても素晴らしい講座があると思います。

（前野会長）

社会教育から見て、さらにバランスを考えて、子どもや若い人から高齢者までの、継続的なものがあれば非常に良いと思います。

単発なものは、子育て関係のものが多いと思いますが、単発も、我々が見たときに、興味があるものはありません。やはり、これも見直す必要があると思います。

（石井生涯学習課長）

公民館ですと、300以上の継続的な「学び」もたくさんあります。

サタデースクールなど、全ての公民館で、全ての子どもたちを対象に地域で育てるという考えを基に展開しています。地域の課題を見つけながら、みんなで継続的に考えていくのは、公民館などの教育機関だと思っています。

（宮崎委員）

地域のお祭りの太鼓練習や伝統的なことやるのも生涯学習かなと思います。継承していきながら地域でやっていますが、後に続く子どもが全然いなくなってきました。

昨年からお祭りの雅楽の笛を教えてもらいながらやり始めたところ、人との繋がりがどんどんできてきまして、面白くなって続けています。これからも地域の子どもたちにも、そういった伝統的なことも教えていけるようにしたいです。

（前野会長）

子どもの頃に、ごく身近に普通にあったものや伝統的なものを、伝える人がいなくなっていくんですね。これも非常に重要な生涯学習の項目だと思います。

まだ、ご意見があるとは思いますが、「生涯学習推進の今後の方向性について」は以上をもって終了させていただきます。出されたご意見を今後、研究材料としていただけたらと思います。ありがとうございました。

続きまして、委員の皆様からご報告事項、ご意見などありましたらお願いいたします。

（桂委員）

生涯学習基本計画について、前回作成したものを拝見すると、かなり詳しく記載されていますが、今後、改めて見直しをするんですか。

（石井生涯学習課長）

新しいものを作りますが、基本的には、前回作成した基本計画の見直しをいれながら作成します。

（松尾委員）

生涯学習市民公開講座を清和大学でやってますが、木更津高専の方も立派な講師がいますよね。

（前野会長）

ご承知かと思いますが、先日、木更津工専と木更津市の間にて包括的な連携協定を結ばせていただきました。連携協定に基づき、どんなことができるか考えております。

公開講座も清和大学ほどテーマがあるかは判りませんが、一般教養に相当する先生方も十数名おりますので、かなりのことができるかもしれません。

現在、本校では、留学生が近隣の小中学校に実際に訪問したり、あるいは小中学生を対象に、陸上のスタートの仕方、運動の仕方などかなり活発に教えています。体育系の先生とは、高齢化社会を迎えていますので、年をとった人が、こういう運動するのはどうなのかということを考え、話しているところです。

いずれは教育委員会との連携協定も結んで、今後やっていきたいと考えております。

まだまだ、ご意見があると思いますが、予定された時間となりました。皆様方のご協力で無事会議を進行することができました。それでは、本日の会議を閉じさせていただきます。

どうもありがとうございました。

（事務局）

ここで、初谷教育長からご挨拶があります。

（初谷教育長）

今日は、ありがとうございました。

平成7年の基本計画から次の計画へと生涯学習課も研究しておりますので、今後ご指導ご意見を賜りたいと思います。

今、国が進めようとしている地方創世ですが、官、学、民、財、そういったものの矩をこえて、繋がる場所は繋げていこうと、まさにそれは、生涯学習のステージになるのではないかと思います。

幸い木更津市は、高専を始め知の蓄積といいますか、恵まれた条件がありますので、皆さんの力をお借りして、今後、計画を策定していきたいと思います。

今年の3月ですが、ようやく2年がかりで作った木更津市の教育振興基本計画がようやく形になりました。

計画を策定するのは大変です。できもしない夢のようなことを書けるのであれば簡単でしょうが、実現を視野に入れ、市の基本計画とも整合性を図り、議会にも折々中途報告をし、そしてさらには、財政的な裏付けを確保をしながら計画を作らなければいけないので、かなり骨の折れる仕事ではありますが、皆様のご指導、ご意見を賜りながら進めていきたいと思

います。

実は、私、この3月31日で退任をすることになっておりますので、最後に、ご挨拶を一言させていただきたいと思います。

平成16年10月から教育長職にあるわけですが、10年6カ月とちょっと長過ぎてしまったのですが、先般3月20日の議会で後任の教育長も議会で承認されました。木更津第一中学校校長の高澤茂夫が次期教育長です。4月から教育委員会制度も大きく変わりますので、良い形で教育行政を繋げることができたと安堵しております。皆様には、引き続き、木更津市の生涯学習にご支援を賜りたいと思います。

長いことありがとうございました。心から御礼を申し上げます。

(進行)

長時間にわたり、貴重なご意見をいただきありがとうございました。

今後とも本市の生涯学習推進活動のため、委員の皆様にはなお一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

それでは、平成26年度木更津市生涯学習推進協議会第2回会議を終了いたします。どうもありがとうございました。